

収支報告書

令和 6 年 4 月 30 日

山口県議会議長 様

報告者 住所 宇部市大字東須恵1903-1

氏名 二木 健治



政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

記

収 入		4,200,000 円		
費 目	金 額 (円)	内 訳	内訳金額(円)	
支 出	調査研究費	347,197	自動車リース代	347,197
	研修費	0		
	会議費	0		
	資料費	0		
	広報費	2,183,897	議会報告制作費	1,252,185
			議会報告折り込み料	850,405
議会報告郵送料			81,307	
事務所費	509,755	事務所賃貸料	351,000	
		水道光熱費	158,755	
事務費	69,350	コピー代	51,073	
		通信費	18,277	
人件費	1,089,801	人件費	1,089,801	
合計	4,200,000			
残 余			0 円	

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1		
事業内容	自動車リース代				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月分	59,351	20,772	59,351×1/2×21/30	
	5月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	6月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	7月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	8月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	9月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	10月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	11月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	12月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	1月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	2月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	3月分	59,351	29,675	59,351×1/2	
	《合計》	712,212	347,197		
按分割合 積算根拠	政務活動（50%） 政務活動（50%）＋その他の活動（50%） ※月毎に按分 （1円未満切捨）				

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
 報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	調査研究費	整理番号	1-2
<p>【領収書その他の書面の添付欄】※ この頁以降、領収書等に宛名の無いものは ≡ 不備な宛先に相違ありません。</p>			
09	05-04-03 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	$59351 \times \frac{1}{2} \times \frac{2}{30} = 20772$
20	05-05-02 381 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	$59351 \times \frac{1}{2} = 29675$
02	05-06-02 381 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
04	05-07-03 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
04	05-08-02 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
16	05-09-04 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
17	05-10-02 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
04	05-11-02 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
13	05-12-04 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
13	06-01-04 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
15	06-02-02 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
03	06-03-04 511 RT	*59,351 TF)トヨ777アイナス	〃
<p>自動車代 1/2 控分合計</p>			<p>347,197円</p>

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 [広報費]・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1	
事業内容	県政ニュース印刷・折込代 Vol.35 Vol.36			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	印刷代 Vol135	664,400	604,604	80,000部
	折込代 Vol135	457,589	416,405	77,270部
	郵送代	37,383	34,018	491通
	印刷代 Vol136	674,564	647,581	78,000部
	折込代 Vol136	452,084	434,000	76,360部
	郵送代	49,260	47,289	654通
		2,335,280	2,183,897	
	按分割合	VOL35 91%充当		
積算根拠	VOL36 96%充当			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領 収 証

二木健治

様

No. _____

★ ¥664,400-

但し 県政ニュース Vol.35 制作代々

2023年 8月 17日 上記正に領収いたしました



内訳
 取
 扱
 額
 消費税額等
 (%)



株式会社ヨシイ・デザインワークス
 〒755-0067 山口県宇部市水事74-3
 キャメロットビル2F
 TEL. 0836-32-0804 FAX. 0836-32-1804



領 収 書

二木 健治 様



金額 457,589 円

(消費税) 41,599 円

但し 県政ニュース折込
(ホスチラン&宇部日報 77,270枚)

上記の金額正に領収いたしました

2023年 9月 7日

(株)宇部日報社

〒755-8543 宇部市寿町2-34-10
TEL(0836)31-1616(代)



取扱者

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証 二木健治 様

No. _____

★ 674,564-
 但し 県政ニュース Vol.36 制作代とL2

2024年 1 月 12 日 上記正に領収いたしました



内訳
 振込額
 消費税額等
 (%)



株式会社ヨシイ・デザイン
 〒755-0067 山口県宇部市小串4-2
 キャメロット
 TEL. 0836-32-0804 FAX. 0836-32-1894



扱者印

領 収 書

二木 健治 様



金額 452,084 円

(消費税) 41,099 円

但し 県政ニュース折込(2024新春 76,360枚)

上記の金額正に領収いたしました

2024年 2月 8 日

取扱者

(株) 宇部日報社

〒755-8543 宇部市寿町2-10-12
 TEL(0836)31-1616(代)

登録番号 T8250001003036

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1 - 4
【領収書その他の書面の添付欄】			
領収書		領収書	
二木 けんじ 様		二木 けんじ 様	
[別納引受] 区内特別基 (定) 18.0g @73 351通 ¥25,623		[別納引受] 区内特別基 (定) 18.0g @73 516通 ¥37,668	
小計 ¥25,623		小計 ¥37,668	
第一種定形 18.0g @84 140通 ¥11,760		第一種定形 18.0g @84 138通 ¥11,592	
小計 ¥11,760		小計 ¥11,592	
郵便物引受合計通数 491通 課税計(10%) ¥37,383 (内消費税等 ¥3,398) 非課税計 ¥0		郵便物引受合計通数 654通 課税計(10%) ¥49,260 (内消費税等(10%) ¥4,478) 非課税計 ¥0	
合計 ¥37,383 お預り金額 ¥37,383		合計 ¥49,260 お預り金額 ¥49,260	
			
〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 取扱日時：2023年 8月 1日 11:32 発行No. 230801A8603 端N79箱11 連絡先：宇部中野郵便局 TEL:0836-43-1500		〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 登録番号 T1010001112577 取扱日時：2024年 1月10日 10:43 発行No. 240110A4687 端N79箱11 連絡先：宇部中野郵便局 TEL:0836-43-1500	

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・ <u>事務所費</u> ・事務費・人件費	整理番号	1 - 1	
事業内容	事務所賃貸料			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	R5年4月分	60,000	21,000	60,000円×1/2×21/30
	R5年5月～R6年3月分	660,000	330,000	60,000円×1/2×11ヶ月
	《合計》	720,000	351,000	
	按分割合 積算根拠	<u>政務活動(50%)</u> 政務活動(50%)+その他の活動(50%) ※月毎に按分（1円未満切捨）		

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	1-2
----	------	------	-----

領 収 書

令和5年4月10日

金額 ￥60,000

但し 4月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 $1/2 \times 21/30$ 按分 21,000円

領 収 書

令和5年5月10日

金額 ￥60,000

但し 5月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 $1/2$ 按分 30,000円

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	1-3
----	------	------	-----

領 収 書

令和5年6月10日

金額 ￥60,000

但し 6月分事務所賃貸料として



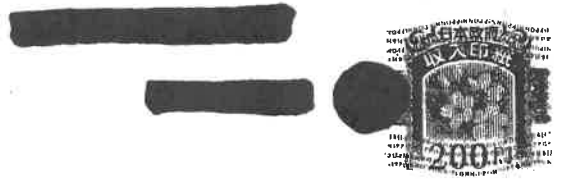
事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領 収 書

令和5年7月10日

金額 ￥60,000

但し 7月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	1-4
----	------	------	-----

領 収 書

令和5年8月10日

金額 ￥60,000

但し 8月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領 収 書

令和5年9月10日

金額 ￥60,000

但し 9月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	1-5
----	------	------	-----

領 収 書

令和5年10月10日

金額 ￥60,000

但し 10月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領 収 書

令和5年11月10日

金額 ￥60,000

但し 11月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	1-6
----	------	------	-----

領 収 書

令和5年12月10日

金額 ￥60,000

但し 12月分事務所賃貸料として



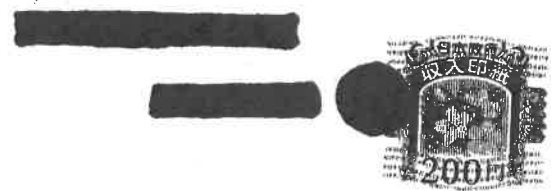
事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領 収 書

令和6年1月10日

金額 ￥60,000

但し 1月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領収書等添付票

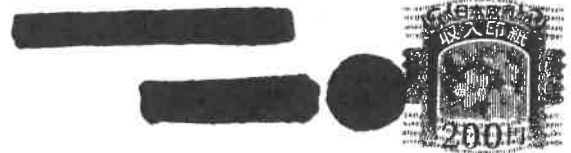
費目	事務所費	整理番号	1-7
----	------	------	-----

領 収 書

令和6年2月10日

金額 ￥60,000

但し 2月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

領 収 書

令和6年3月10日

金額 ￥60,000

但し 3月分事務所賃貸料として



事務所賃貸料 1/2 按分 30,000 円

費目別支出内容一覧表

議員名 二木健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・ 事務所費 ・事務費・人件費	整理番号	2-1	
事業内容	水道料			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	4・5月分	8,338	3,485	8,338×1/2×51/61
	6・7月分	7,628	3,814	7,628×1/2
	8・9月分	4,991	2,495	4,991×1/2
	10・11月分	7,628	3,814	7,628×1/2
	12・1月分	5,346	2,673	5,346×1/2
		《合計》	33,931	16,281
按分割合 積算根拠	<u>政務活動(50%)</u> 政務活動(50%)+その他の活動(50%) ※支出毎に按分(1円未満切捨)			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	2 - 2
【領収書その他の書面の添付欄】			
09 05-06-19 511 RT	*8,338 ウゝｽｲﾄ"ウ	$8338 \times \frac{1}{2} \times \frac{51}{61} = 3485$	
17 05-08-17 511 RT	*7,628 ウゝｽｲﾄ"ウ	$7628 \times \frac{1}{2} = 3814$	
16 05-10-17 511 RT	*4,991 ウゝｽｲﾄ"ウ	$4991 \times \frac{1}{2} = 2495$	
21 05-12-18 511 RT	*7,628 ウゝｽｲﾄ"ウ	$3814 \times \frac{1}{2} = 3814$	
05 06-02-19 511 RT	*5,346 ウゝｽｲﾄ"ウ	$5346 \times \frac{1}{2} = 2673$	
			水道代 1/2 按分合計
			16,281 円

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・ 事務所費 ・事務費・人件費	整理番号	3-1		
事業内容	電気料				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月分	35,274	11,947	35,274×1/2×21/31	
	5月分	15,124	7,562	15,124×1/2	
	6月分	10,025	5,012	10,025×1/2	
	7月分	12,550	6,275	12,550×1/2	
	8月分	18,197	9,098	18,197×1/2	
	9月分	14,504	7,252	14,504×1/2	
	10月分	9,819	4,909	9,819×1/2	
	11月分	10,961	5,480	10,961×1/2	
	12月分	29,932	14,966	29,932×1/2	
	1月分	49,945	24,972	49,945×1/2	
	2月分	47,905	23,952	47,905×1/2	
	3月分	42,098	21,049	42,098×1/2	
	《合計》	296,334	142,474		
按分割合 積算根拠	<u>政務活動(50%)</u> 政務活動(50%)+その他の活動(50%) ※月毎に按分（1円未満切捨）				

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
 報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	3-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
05.04.27	電気	*35,274 04カ"ツテ"ントウ	$25,274 \times \frac{1}{2} \times \frac{2}{31} = 11,947$
05.05.29	電気	*15,124 05カ"ツテ"ントウ	$15,124 \times \frac{1}{2} = 7,562$
105.06.27	電気	*10,025 06カ"ツテ"ントウ	$10,025 \times \frac{1}{2} = 5,012$
005.07.27	電気	*12,550 07カ"ツテ"ントウ	$12,550 \times \frac{1}{2} = 6,275$
705.08.28	電気	*18,197 08カ"ツテ"ントウ	$18,197 \times \frac{1}{2} = 9,098$
305.09.27	電気	*14,504 09カ"ツテ"ントウ	$14,504 \times \frac{1}{2} = 7,252$
505.10.27	電気	*9,819 10カ"ツテ"ントウ	$9,819 \times \frac{1}{2} = 4,909$
305.11.29	電気	*10,961 11カ"ツテ"ントウ	$10,961 \times \frac{1}{2} = 5,480$
105.12.27	電気	*29,932 12カ"ツテ"ントウ	$29,932 \times \frac{1}{2} = 14,966$
306.01.29	電気	*49,945 01カ"ツテ"ントウ	$49,945 \times \frac{1}{2} = 24,972$
206.02.28	電気	*47,905 02カ"ツテ"ントウ	$47,905 \times \frac{1}{2} = 23,952$
806.03.27	電気	*42,098 03カ"ツテ"ントウ	$42,098 \times \frac{1}{2} = 21,049$
電気料 1/2 按分合計			142,474円

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1		
事業内容	コピー使用料				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月分	38,278	13,397	38,278×1/2×21/30	
	5月分	37,980	18,990	37,980×1/2	
	6月分	7,601	3,800	7,601×1/2	
	7月分	1,755	877	1,755×1/2	
	8月分	3,256	1,628	3,256×1/2	
	9月分	6,386	3,193	6,386×1/2	
	10月分	1,320	660	1,320×1/2	
	11月分	1,320	660	1,320×1/2	
	12月分	2,798	1,399	2,798×1/2	
	1月分	6,191	3,095	6,191×1/2	
	2月分	2,139	1,069	2,139×1/2	
	3月分	4,610	2,305	4,610×1/2	
	《合計》	113,634	51,073		
按分割合 積算根拠	政務活動 (50%) 政務活動 (50%) + その他の活動 (50%) ※月ごとに按分 (1円未満切り捨て)				

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
 報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
19	05-05-01 381 RT	*38,278	7574114BI
23	05-05-31 381 RT	*37,980	7574114BI
01	05-06-30 511 RT	*7,601	7574114BI
01	05-07-31 511 RT	*1,755	7574114BI
14	05-08-31 511 RT	*3,256	7574114BI
15	05-10-02 511 RT	*6,386	7574114BI
02	05-10-31 511 RT	*1,320	7574114BI
07	05-11-30 511 RT	*1,320	7574114BI
11	06-01-04 511 RT	*2,798	7574114BI
13	06-01-31 511 RT	*6,191	7574114BI
19	06-02-29 511 RT	*2,139	7574114BI
01	06-04-01 511 RT	*4,610	7574114BI

$38278 \times 1/2 \times 2/30 = 13397$
 $37980 \times 1/2 = 18990$
 $7601 \times 1/2 = 3800$
 $1755 \times 1/2 = 877$
 $3256 \times 1/2 = 1628$
 $6386 \times 1/2 = 3193$
 $1320 \times 1/2 = 660$
 $1320 \times 1/2 = 660$
 $2798 \times 1/2 = 1399$
 $6191 \times 1/2 = 3095$
 $2139 \times 1/2 = 1069$
 $4610 \times 1/2 = 2305$

20-使用料 1/2 振分合計
 51,073

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	2-1	
事業内容	固定電話使用料			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	7月分	6,227	3,113	6,227×1/2
	9月分	6,363	3,181	6,363×1/2
	10月分	6,020	3,010	6,020×1/2
	11月分	5,470	2,735	5,470×1/2
	1月分	6,246	3,123	6,246×1/2
	3月分	6,231	3,115	6,231×1/2
		《合計》	36,557	18,277
按分割合 積算根拠	政務活動（50%） 政務活動（50%）+その他の活動（50%） ※支出ごとに按分（1円未満切り捨て）			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
 報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	2-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
3 05.07.18	電話	*6,227	$6227 \times 1/2 = 3113$
1 05.09.15	電話	*6,363	$6363 \times 1/2 = 3181$
3 05.10.16	電話	*6,020	$6020 \times 1/2 = 3010$
1 05.11.15	電話	*5,470	$5470 \times 1/2 = 2735$
1 06.01.15	電話	*6,246	$6246 \times 1/2 = 3123$
06.03.15	電話	*6,231	$6231 \times 1/2 = 3115$
			<p>電話代 1/2 按分合計 18,277円</p>

費目別支出内容一覧表

議員名 二木 健治

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費			整理番号	1-1
事業内容	事務所職員給与				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	4月分	200,000	70,000	1名 200,000×1/2×21/30	
	5月分	200,000	100,000	1名	
	6月分	200,000	100,000	1名	
	7月分	200,000	100,000	1名	
	8月分	200,000	100,000	1名	
	9月分	200,000	100,000	1名	
	10月分	200,000	100,000	1名	
	11月分	200,000	100,000	1名	
	12月分	200,000	100,000	1名	
	1月分	200,000	100,000	1名	
	2月分	200,000	100,000	1名	
	3月分	200,000	19,801	1名 一部充当	
	《合計》	2,400,000	1,089,801		
按分割合 積算根拠	政務活動 (50%) 政務活動 (50%) + その他の活動 (50%)			月毎に按分 (1円未満切捨)	

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年4月分給与として

令和5年4月30日 上記正に領収いたしました



人件費 $1/2 \times 21/30$ 按分 70,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年5月分給与として

令和5年5月31日 上記正に領収いたしました



人件費 $1/2$ 按分 100,000 円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-3
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年6月分給与として

令和5年6月30日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年7月分給与として

令和5年7月31日 上記正に領収いたしました



人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-4
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年8月分給与として

令和5年8月31日 上記正に領収いたしました



人件費1/2按分 100,000円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年9月分給与として

令和5年9月30日 上記正に領収いたしました



人件費1/2按分 100,000円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-5
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年10月分給与として

令和5年10月31日 上記正に領収いたしました



人件費1/2按分100,000円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年11月分給与として

令和5年11月30日 上記正に領収いたしました



人件費1/2按分100,000円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-6
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和5年12月分給与として

令和5年12月31日 上記正に領収いたしました

人件費1/2按分100,000円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和6年1月分給与として

令和6年1月31日 上記正に領収いたしました

人件費1/2按分100,000円充当

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-7
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和6年2月分給与として

令和6年2月29日 上記正に領収いたしました

人件費 1/2 按分 100,000 円充当

領 収 証

二木 健治 様

¥ 200,000-

但し 令和6年3月分給与として

令和6年3月31日 上記正に領収いたしました

人件費 19,801 円充当



三世代が住み良い山口県づくり

盛夏の候

皆様には益々ご健勝のことと

お喜び申し上げます

山口県議会議員

自由民主党山口県連副会長

二木 健治

三世代が
住み良い
山口県づくり

Creating Livable Cities

さて今年の4月に行われまし
た県議会議員選挙で5期目の当
選を果たすことが出来ました。
これも偏に皆様のご支援のおか
げと心から感謝申し上げます。
これから選挙戦で訴えたコロナ
で傷んだ県民生活や経済の再生
に一生懸命取り組んで参りま
す。又、デジタル化や脱炭素化な
ど時代の変化にもしっかりと対
応して参ります。

現在、山口県ではコロナ禍で
傷んだ経済の再生に向けて、「ぶ
ちうま山口」での高級魚や日本
酒・お花の30〜50%割引販売や
「元気にやまぐち券」で県内4774
店舗の30%のプレミアム商品券
を発行して落ち込んだ消費の拡
大を図っています。又、3年半
ぶりのクルーズ船の寄港など積
極的にインバウンド客を誘致し
ています。宇部港にも「ヘリテ
ィ・アドベンチャラーズ」が
寄港し、小野の茶畑や名勝宗隣
寺庭園に観光客が訪れました。
又、現下の物価高騰に対し6
月県議会において補正予算を
144億1500万円計上しま
した。内訳は、物価高騰対策と
して50億3500万円、中小企
業制度融資の新規融資枠とし
て94億円です。主なものは生活
者への支援として、LPGガス利
用者に対して1世帯当たり3千
円を値引きし、工業用利用者に
ついては、1㎡20円を9月から
11月までの間値引きを行います。
又、事業者への支援について特別
高圧電力を受電する中小企業の
ほか、大型商業施設等に入居して
いる事業者等に対し、8月使用分
までは1kwh当たり3.5円、9
月使用分は1kwh当たり1.8円
を1月から9月まで支援しま
す。その他、賃上げに向けた職
場環境作りや柔軟な働き方に資
する制度を導入した事業者に最
大100万円の奨励金を支給す
る予算や農業者・畜産業者に対
して肥料や飼料費の価格高騰分
を支援する予算を計上しました。
論語の顔淵編に「民、信無くば
立たず」との孔子の教えがありま
す。孔子は政治を行う上で大切
なものは何かと弟子に尋ねられ、
「軍備・食糧・民衆の信頼」の三つ
と答え、中でも大切なものが「民
衆の信頼」であると説きました。
私はこれから4年間初心を忘
れず、「無信不立」を座右の銘と
して県民の皆様の声をしっかりと
お聞きし、県民の皆様への負託に
応えられる様一生懸命取り組ん
で参ります。
今後とも皆様の変わらぬご理
解ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。



令和5年6月21日～令和5年7月7日

6月定例県議会

自民党代表質問「抜粋」2023.6.26



Q1 コロナ後における地方創生の実現について

コロナ禍が出口に向かい、県全体が活力を取り戻しつつある中、加速する人口減少を克服し、地域の再生と更なる飛躍を実現するため、県は今後どのように取り組まれるのか、所見を伺う。

A：村岡副政知事

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
人口減少は、経済活動や地域社会、県民生活に深刻な影響を及ぼす本県の最重要課題であり、コロナ禍からの発展的再生を図り、持続可能で活力ある山口県を実現するためにも、その克服に真正面から挑戦していかなければなりません。国においても、急速な少子化が我が国の経済・社会システムの維持を困難にすると危機意識に立ち、今をラストチャンスと捉え、次元の異なる少子化対策が検討されており、残された期間の余裕はありません。

私は、こうした認識の下、新たに「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとし、今般、その「叩き台」となる素案を作成したところであり、当事者の皆さんに改めて意見を伺うことなどにより、意識や価値観、ニーズや課題等を十分に把握し、その声に応える、今の

時代に即した、効果的な少子化対策や本県への定着を促進する施策の構築を図ります。

さらに、近年大きく増加している移住者の更なる拡大に向けても、若者や子育て世代を呼び込む施策を強化、同時に、高齢化が進行し当面の人口減少が避けられない現実を踏まえ、対策を考えることも重要であり、人口減少の中にあっても、持続可能な経済・社会を築くため、各分野の取組を一層深化させなければなりません。

このため、産業では、生成 AI など先進的なデジタル技術も積極的に取り入れ、生産性向上や新たな価値を生み出すイノベーションの創出を図るとともに、GXの推進等による成長支援などを進めます。

交流では、インバウンドの拡大による観光需要の取り込み、生活では、デジタルによる生活サービスの提供や将来にわたり自立発展できる未来のまちづくりの推進など、地域の維持・活性化につながる取組を強化します。

Q2 若者や子育て世代に寄り添った少子化対策の推進について

全国の出生数は、初めて80万人を割り込み、過去最低を更新し、少子化は予想より早く進んでいる。県では、若者や子育て世代に寄り添った少子化対策の推進に、どう取り組まれるのか伺う。

A：村岡副政知事

社会全体で結婚を応援する取組を強力に推進
本県の昨年の合計特殊出生率は、1.47と、全国11位となっており、全国的には低位ではないものの、出生数は7,762人と、5年前と比べ、2割以上減少しており、少子化に歯止めがかかっておらず、大変憂慮すべき状況にあります。こうした中、県ではやまぐち未来維新プランに基づき、結婚、妊娠・出産、子育てに対する切れ目のない支援に取り組んできたところです。具体的には、少子化の主な要因である未婚化、晩婚化へ対応するため、開設以来207組の成婚を達成した「結婚応援センター」の取組に加え、やまぐち婚活応援隊の結成や、結婚の魅力を伝えるキャンペーン

イベントの開催により、社会全体で結婚を応援する取組を強力に進めています。また、育児の悩みや不安感の軽減を図るため、身近な場所で、妊娠・出産・育児の相談に対応する「まちかどネウボラ」をこれまでに87ヶ所設置、今年度から助産師を派遣することで、さらに子育て家庭に寄り添った伴走型相談支援の強化に取り組んでいます。少子化の要因は、出会いの機会の減少や、仕事と子育ての両立の難しさ、家事・育児負担の女性への偏りなど、多岐にわたることから、当事者のニーズを的確に把握することが重要で、今年度実施する子育て支援に関する県民意識調査等を通じ、若者や子育て世代の声にしっかりと耳を傾けるとともに、県議会のご意見をいただきながら、より一層実効性を高め、少子化対策を推進してまいります。

皆様のご支援により山口県議会議員5期目の当選を果たす事ができました。



PROFILE

- 1955年9月20日 宇部市東須恵生まれ
- 青山学院大学法学部卒業後 大手ゼネコンに入社
- 現在、山口県議会議員(5期目) 山口県議会副議長
- 山口県監査委員、環境福祉委員会委員長、文教警察委員会委員長、決算特別委員会委員長等歴任
- 資格：1級土木施工管理技士、下水道第2種検定合格者、宅地建物取引士、衛生管理者
- 著書：VE発想法で特許を取ろう(近代文芸社刊)

山口県議会議員
自由民主党山口県連副会長

二木 健治



Q3 地域経済の好循環の実現について

賃上げや人手不足、資材・原材料の高騰など、足元の課題を乗り越え、地域経済の好循環を実現するためには、どのように取り組むのか所見を伺う。

A：村岡副政知事

施策を強力に展開し、好循環へ

コロナ禍から地域経済の回復に向けた動きが強まる中、資源・原材料価格の高止まり、人手不足が、事業者にとって大きな負担となっています。こうした状況を克服し、県経済の回復を確かなものにするためには、課題に対応した施策を強力に展開することが必要と考えています。このため、資源・原材料価格の上昇や賃上げの状況等を踏まえながら、企業の経営基盤の強化や人材の確保・育成に積極

的かつ機動的に取り組んでまいります。まず、経営基盤の強化に向けては、デジタル技術を活用した既存ビジネスの変革等により生産性向上を図ることが重要であることから、これまでY-BASEでの約200件のDXコンサルやシステム導入等の補助を実施してきたところです。さらに物価高騰の影響が大きい中小企業を対象として、省エネや生産性の向上に資する設備導入補助を行うとともに、補正予算において、LPガスと特別高圧電力を利用する企業等に対して負担軽減策を

講じてまいります。

加えて、電気料金削減に向けた

中小企業の蓄電池導入を支援する補助制度を創設するとともに、肥料や飼料の価格高騰の影響を受けている農業者や畜産業者を支援するなど事業者の経営安定を図ります。次に、人材の確保・育成に向けては「産業人材課」を新設し、県外からキャリア人材の採用に向けた企業の主体的な取組を支援。また、女性の就業率を高めるため「女性デジタル人材育成コンソーシアム」を推進母体として、デジタルスキルの習得から就業支援までを一体的に行ってまいります。

Q4 戦略的な海外展開の推進について

県は、台南市（台湾）と観光・物産等の分野における交流の覚書を交わすと発表、6月にはベトナム・ビンズン省から訪問団も来県。今後、台湾やASEANなどをターゲットにした、戦略的な海外展開の推進に、県は、今後どのように取り組むのか所見を伺う。

A：村岡副政知事

海外の活力を取り込み、経済の活性化を社会経済活動がコロナ禍前に戻りつつあり、全世界で交流・物流が大きく動きだしている中、この機を逃すことなく、成長著しい海外市場との交流拡大により海外の活力を取り込み、本県経済の活性化を図ることが極めて重要と考えています。本年4月、海外展開の取組を総括的にマネジメントする海外展開推進室を新設し、東アジアやASEAN地域等をターゲットに、全庁を挙げた取組を積極的に進めているところです。具体的には、海外でのセールス活動を本格的に再開することとし、本年度の第1弾として、来月、県議会とともに台湾を訪問します。

台湾では、台南市との観光・物産分野等の交流に関する覚書を締結するほか、同市において、本県の強みである豊かな自然や文化、歴史、多彩な食などの魅力的な観光資源を、広くPRすることとしています。

また、半導体関連企業が集積する新竹市を訪問するとともに、台北市では、オードリー・タンデジタル担当大臣とお会いし、デジタル改革の新たな展開等に向けた意見交換を行ってまいります。

ベトナムでは、先日来県されたビンズン省との連携を深め、交流を加速するとともに、キエンザン省において進めている水産インフラ輸出に向け、現地での実証事業や展示会への出展など、販路拡大に取り組んでまいります。

さらに、農林水産物等の輸出拡大に向け、設置した「やまぐちの農林水産物等輸出推進会議」において、生産・加工・流通などの多様な事業者による連携体を構築し、大口化や多品目化を進めるなど、戦略的な取組を推進します。さらに、本県と台湾やベトナム等を直接結ぶ国際チャーター便の早期就航に向けた取組を着実に進めてまいります。今後とも、旺盛な海外需要を本県に取り込み、経済の活性化に繋がるよう、戦略的な海外展開の推進に積極果敢に取り組んでまいります。



2022年11月村岡知事とASEAN 隣国の県連団でベトナム訪問

Q5 教育行政について

次代の担い手となる子どもたちは、我々の想像を超える社会を生き抜き、自ら社会を構築していく力を身に付けていくことが求められていますが、未来を見据えた教育の充実には、どのように取り組まれるのか、教育長の所見を伺う。

A：教育長

「山口県教育振興基本計画」の策定を推進人口減少や少子高齢化、グローバル化などの進行が加速度を増し、先行きが不透明で未来の予測が困難となっている中、教育の果たす役割は極めて重要です。また、コロナ禍の影響や、生成AIの出現に象徴されるデジタル化の進展などに伴う新たな課題にも、的確に対応していくことが教育には求められています。県教委では、今後5年間の本県教育の指針となる新たな「山口県教育振興基本計画」の策定を鋭意進めているところです。

まず、次期計画の教育目標については、本県教育の良き伝統である先見性や進取の気質などを大切に受け継ぎながら、前計画の目標である「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」を継承し、高い志をもち、多様な人々と協働しながら、主体的に力強く、未来を切り拓いていく子どもたちを育成していくことといたしました。また、社会の変化や多様な教育ニーズ等に対応するため、施策の柱に「新たな時代を創造する人材を育む教育の推進」や、「誰一人取り残されることのない教育の推進」を新たに追加するなど、教育目標の実現に

向けて、施策体系を大きく見直したところです。これらの柱に沿って、デジタル技術や教育データを効果的に活用して、子どもたちの学び方や教職員の働き方を改革する教育DX、部活動の地域連携・地域移行に向けた部活動改革の推進、本県の喫緊の課題である教員確保等を追加するなど、直面する教育課題に対応します。



2023〔令和5年1月-6月〕活動報告



2023年1月25日
第174回全国都道府県議会議長会定例総会
(東京：砂防会館)に出席しました。



2023年1月31日
感鯨(かんげい)料理発表会(下関グランドホテル)開催。
県が日本一の水揚げ量を誇る鯨肉消費拡大のため飲食業
組合とコラボして鯨料理を開発、県内100店舗で提供されます。



2023年2月9日
Bリーグ島田慎二チェアマンが山口県庁を訪問。プロバス
ケットチームが地元へ根付いてプレーするために必要な
アリーナ建設を村岡知事や篠崎市長に要望して参ります。



2023年2月10日
「二木けんじ新春の集い」をANAクラウンプラザホ
テル宇部で開催しました。



2023年2月27日
2月定例県議会の代表質問が始まりました。
自民党の友広徹議員から、デジタル改革、産業脱炭
素推進、教育行政などの質問がありました。



2023年3月5日
岸田文雄総理が山口宇部空港へお越しになり
村岡知事、篠崎市長、自民党県連役員他とお迎
えしました。



2023年5月4日
宇部港にクルーズ客船「ヘリテージアドベン
チャー号」が寄港、海外からの観光客の皆様が
小野の茶畑と名勝宗麟寺へ観光に行かれました。



2023年5月12日
全国都道府県議会議長会より感謝状を頂きました。
副議長の役職を2年間大過なく終える事が出来たのも、
柳居議長をはじめ皆様のお陰と心から感謝いたします。



2023年5月27日
山口宇部ふれあい公園大型インクルーシブ遊具オー
プニングセレモニーが開催されました。セレモニー
終了後、公園では子どもたちの笑顔が溢れていました。



2023年6月2日
山口茶のPRに村岡知事を表敬訪問しました。
ハーブと山口茶をブレンドした「小野小ブレンド緑
茶」の提供があり、美味しくいただきました。



2023年6月14日
山口県石灰石鉱業協会が「軽油引取税課税免除
措置の期間延長」について村岡知事、柳居議長
に要望書を手交されました。



2023年6月19日
ベトナムビンズン省からロイ書記長はじめ14
人の訪問団が山口県庁を表敬訪問され、今後の
交流について意見交換を行いました。





三世代が住み良い山口県づくり

新年おめでとうございます。
皆様には希望に溢れる
輝かしい新年をお迎えの事と
お慶び申し上げます。

山口県議会議員
自由民主党山口県連副会長
二木健治



三世代が
住み良い
山口県づくり
Creating Livable Cities



私事ですが、昨年4月に行われまして山口県議会議員選挙で5期目の当選を果たさせて頂きました。これも偏に皆様のご支援の賜と心から感謝申し上げます。これからも初心を忘れずに「三世代が住み良い山口県づくり」に一生懸命取り組んで参ります。

さて昨年も暗いニュースが多一年となりました。長期化するロシアによるウクライナ侵攻に伴う燃料高・物価高やハマスによるイスラエルへのテロ行為とその報復、北朝鮮によるミサイルの発射等まさに多事多難な一年となりました。

そんな中、スポーツの世界ではWBCでの侍ジャパンの世界一奪還、大谷翔平選手のMVP獲得、バスケットボールやサッカー、ラグビー日本代表の活躍等明るいニュースも多くありました。長期化した新型コロナウイルス感染症も5月8日に感染症の分類が2類から5類へ移行し、インフルエンザ並みの扱いとなりました。これに伴い様々な制限が解除され、ようやくコロナ前の日常に戻りつつあります。

今年も引き続きコロナ禍で傷んだ経済や県民生活を取り戻さなければなりません。さらにデジタル社会や脱炭素化社会の実現を通じて生産性と持続性を高めて「活みなぎる山口県の実現」に取り組んで参ります。又、地球温暖化に伴い線状降水帯が発生する等自然災害が猛威を振るってまいります。こうした災害はいつでも発生するかわかりません。その為、災害の被害を最小限に食い止める減災の備えが必要です。引き続き安全安心のまちづくりにも取り組んで参ります。

「禍福は糾える縄のごとし」と申します。今年が皆様にとりまして良き年となりますよう祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



令和5年11月29日～令和5年12月15日

11月定例県議会

自民党代表質問 [抜粋] 2023.12.4

Q1 人口減少の克服にむけた令和6年度当初予算編成について

人口減少や少子化を乗り越え、本県が発展的再生を遂げていくための今後の方向性についてどのように考え、その具体化に向けた来年度予算編成にどう取り組まれるのか、所見を伺う。

A：村岡嗣政知事

「その処方箋がやまぐち未来維新プラン」

人口減少は、深刻な影響を及ぼす県政の最重要課題であり、活力ある山口県を実現していくため、歯止めをかけていく必要があります。これまで、県独自の多子世帯の保育料軽減やテレワーク移住・ワーケーションの促進を進め、合計特殊出生率は全国でも高い水準で推移し、移住者数も5年間で倍増するなど、一定の成果が現れました。

しかしながら、県外への若者・女性の転出超過が少子化に拍車をかけ、さらなる人口減少につながるという構図は変わっておらず、一刻の猶予も許されません。

今年度、当事者である大学生や子育て世代の若者から、インタビュー形式により、就職や子育て等に関する考えを深く掘り下げて伺った結果、価値観に合った労働環境の整備や就職関連情報の提供で生じているミスマッチの解消、男性育休が当たり前となる社会の実現や子育て世

代への経済的支援のさらなる充実など、今後、取組を強化すべきポイントが明確になったところです。

人口減少下にあっても、さらなる発展を目指すには、デジタル化・脱炭素化等の社会変革を推進力に取組をステップアップしていくことが、人口減少の克服にもつながると考えています。その処方箋が「やまぐち未来維新プラン」であり、産業維新では「Y-BASE」によるデジタル実装事例の創出や、成長が見込まれる半導体、蓄電池関連企業の勧誘などが進んでいます。来年度の当初予算編成に当たっては、基本方針として「人口減少の克服」と「未来維新プランの着実な推進」この2つの柱に沿って、どこまでも成果を追求する姿勢で、実効性の高い施策を構築し、人口減少の克服と本県のさらなる発展に確かな道筋をつけていく強い決意を持っています。私は「安心で希望と活気に満ちた山口県」の実現に向けて、来年度予算編成に全力で取り組んでまいります。



Q2 デフレ完全脱却に向けた地域経済の好循環の実現について

地方の経済再生の大きな課題が人手不足で、将来的にも生産年齢人口が減少する中、賃上げや省人化技術の導入が事業者の死活問題となっている。経済の好循環に向け物価高を乗り越え、どう取り組むのか所見を伺う。

A：村岡嗣政知事

「国の経済対策にもしっかりと呼应し好循環へ」

これまでも、当初予算や補正予算を通じて物価高騰対策を講じてきており、国の経済対策に対応した追加の措置を講じ、県民や事業者の負担軽減を図ってまいります。まず、LP ガスと特別高圧電力を利用する中小企業に対する国の電気・ガス料金の激変緩和措置が延長されたことを踏まえ、支援期間の延長。光熱費の高騰により厳しい経営環境に置かれた医療機関や社会福祉施設に対し、追加の支援金を支給します。

こうした取組に加え、深刻化する人材不足への対応が不可欠で、生産向上や賃上げ等により、魅力ある雇用の創出・

拡大を図り、県内就職の促進に取り組んでまいります。具体的には、Y-BASEでのDXコンサルやシステム導入の補助により、企業の生産向上をきめ細かく支援します。また、先の補正予算で賃上げと同時に柔軟な働き方を導入する中小企業に対し、最大100万円の奨励金を支給する制度を設け、取組を通じて魅力ある職場環境の整備に繋がっていきます。産業人材の確保に向けては、山口しごとセンターにおいて、企業の魅力発信や就職フェアの開催など総合的な支援を実施し、県内企業と若者とのマッチング強化や、転職フェア出展支援等を通じキャリア人材の採用を支援するとともに、県外からの人材確保を推進します。引き続き国の経済対策に呼应しながら、地域経済の好循環に取り組んでまいります。



山口県議会議員
自由民主党山口県連副会長

二木 健治

活力みなぎる山口県の
実現に取り組むとともに
医療や福祉から子育て教育まで充実した
「三代が住み良い山口県」の実現を目指します。



9月県議会(2023年)



厚東川の護岸復旧工事の予算も承認

2023年 [9月県議会]
豪雨災害対策関連事業費139億892万円を含む一般会計補正予算案など10議案が可決しました。

PROFILE

- 1955年9月20日 宇部市東須恵生まれ
- 青山学院大学法学部卒業後 大手ゼネコンに入社
- 現在、山口県議会議員(5期目)
環境福祉委員会、少子化・人材育成確保対策特別委員会委員長
- 議会活動歴：山口県議会副議長、決算特別委員会委員長、文教警察委員会委員長、環境福祉委員会委員長 等
- 資格：1級土木施工管理技士、下水道第2種検定合格者、宅地建物取引士、衛生管理者
- 著書：VE発想法で特許を取ろう (近代文芸社刊)



Q3 産業戦略の推進について

デジタル技術の進展による産業構造の変化、海外需要の先行き不安など、本県産業を取り巻く状況は不確実性が高まっている。こうした変化の中、強みと可能性に対して予算と資源を投入し、どのように本県産業を強化し、取り組まれるのか所見を伺う。

A：村岡副政知事

「地域の活力源である強い産業を」

県経済の持続的な成長・発展を図るには、地域の活力源である強い産業をつくることが重要であるとの考えの下、産業集積を生かし産業戦略を進めてまいりました。

これまでの取組により、環境・エネルギーや医療分野などの事業化促進や、港湾や幹線道路の産業基盤の充実、さらには、本年の企業勧誘における企業の投資額が過去最高の見込みとなるなど、着実に成果があがっています。

産業イノベーション戦略では、こうした成果を生かし、未来維新プランの4つの視点や半導体、海外需要等の成長分野を取り込み、デジタル化や脱炭素化などの社会変革、人手不足にも的確に対応してまいります。まず、世界的に市場が拡大する半導体や蓄電池分野については、産学公による協議会のネットワークも活用しながら、優良企業の誘致を推進、取引や研究開発等の産業交流を拡大させてまいります。また、旺盛な海外需要を本県に取り込むため、

海外ビジネス加速化プロジェクトを新設し、成長を続ける東アジアやASEAN地域をターゲット

に戦略的に取組を推進してまいります。本県産業イノベーションを担う基幹産業等の成長を下支えするため、国際バルク戦略港湾の計画的な整備や下関北九州道路の早期事業化に精力的に取り組むなど、産業基盤である港湾、幹線道路、工業用水道の整備を着実に進めてまいります。



Q4 強い農林水産業の実現に向けた輸出力強化について

人口が減少し国内市場の縮小が避けられない中、本県には味や品質に優れた農林水産物が数多くあり、ASEANや東アジアにトップセールスを積極的に行っているが、強い農林水産業の実現に向け、輸出力強化に今後どのように取り組まれるのか伺う。

A：村岡副政知事

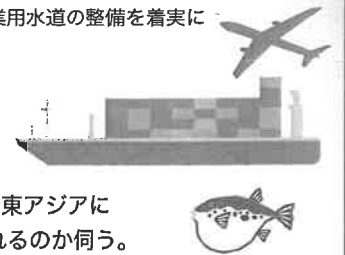
「新たなニーズ、取引先の開拓に向けて」

海外においては、経済発展や和食へのニーズの高まりに伴い、日本産食材の需要が急速に拡大をしています。コロナ禍が落ち着きを見せ、世界中の交流・物流が一斉に動き出した機を逃さず、本県の農林水産物のポテンシャルを最大限生かし、輸出力の更なる強化に向け、官民一体となって、効率的な輸出体制の整備や売込強化に重点的に取り組むこととし

ています。まず、効率的な輸出体制の整備については、新たに県や支援団体が構成する輸出推進会議を設立するとともに、県内の輸出関連事業者や海外のバイヤーが一堂に会した推進大会を開催するなど、機運醸成を図っているところです。

県産品の売込強化に向けては、台湾やベトナム、シンガポールにおいて、イベントへの出展やテスト販売の結果、新たな商談が成立するなど、大きな成果があがったところです。

こうした成果を踏まえ、フグや日本酒や和牛など本県の魅力ある食材を海外で積極的にPRするとともに、新たな取引先の開拓に向け取組を進めていきます。また、台湾やベトナムにおけるフグの輸入解禁に向けては、県議会と連携、農林水産大臣に対し、政府間協議の促進を要望するとともに、私自身が台湾やベトナム政府に早期の輸入解禁を要請、規制撤廃に向け取り組むこととしています。



Q5 感染症危機対応力の強化について

新型コロナは5類に移行したが、感染症によるパンデミックは今後も起こり得ることから、平時から万全を期し感染症危機に備え、国・県の連携強化はもとより、感染症専門人材の育成など、県は感染症危機対応力の強化について、今後どう取り組まれるのか、伺う。

A：村岡副政知事

「新たな健康危機に備える」

本県で初めて新型コロナが確認されて以降、県民の命と健康を守ることを最優先に、実効的な対策に取組んできたところであり、現在は、感染の落ち着きなどから、徐々に日常生活に戻りつつありますが、いつまた、新たな感染症危機が発生しても不思議ではありません。新型コロナ同様の爆発的な感染拡大が今後も起こりうることを前提として、万全に備えることが極めて重要と考えています。

今年度、医療関係団体や専門家等で構成する県感染症対策連携協議会を開催し、新型コロナ対応の検証などを踏まえ、県の感染症対策の指針となる感染症予防計画の改定を進めて

いるところです。

この計画に基づき、平時から国・県の連携強化や保健医療提供体制の構築、保健所の機能強化、感染症専門人材の確保・育成などの対策を実施し、新たな感染症危機への、迅速かつ確かな対応力の強化を図ってまいります。

具体的に国の連携強化について、国の司令塔組織と現場を預かるわれわれ地方が、平時から連携し情報共有を図り、発生時には最新の科学的見知や国で立案される対策などを、機動的に本県の取組に反映させてまいります。

保健医療提供体制の構築については、医療機関や民間検査機関等と、機能や役割に応じた協定を締結、感染症治療の中核的役割を担う県立医療センターの能力強化を図り、コロナ

の最大感染規模にも対応できる万全の体制を確保します。さらに、保健所の機能強化については、外部との連携体制の確保や、資器材の十分な備蓄、デジタル化の推進等、計画的に整備してまいります。加えて、感染症専門人材の確保・育成については、平時の備えが確実に力を発揮できるように、研修・訓練の実施や国の専門的な研修へ参加などに取り組めます。

県民の命と健康を第一に、引き続き新たな感染症危機に全力で取り組んでまいります。





2023年7月21日
山口宇部空港内のやまぐちワークステーション総合案内施設「YYIGETEWAY」を視察しました。昨年度は3560人が利用し68%が首都圏の方でした。



2023年8月17日
宇部市の厚南4地区協議会と県議会議員・市議会議員との懇談会が開催され、同地区のインフラ整備や安全安心づくり等について議論しました。



2023年8月28日
山口県議会観光振興議員連盟の研修会が岩国国際観光ホテルで開催され、「新たな観光県やまぐち創造プラン」などの講演がありました。



2023年9月4日
環境福祉委員会で石川県・福井県を視察。石川県立病院は正面ロビーが災害拠点となるよう設備されており、山口県立総合病院の建て替えの参考になりました。



2023年9月8日
私が委員長を務める「少子化・人材育成確保対策特別委員会」の初委員会を開催。内閣官房参与・山崎史郎氏に講演頂き大変参考になりました。



2023年9月12日
プロバスケットボール「山口パッツファイブ」の成田社長、鮫島選手、デスモンド選手、篠崎市長が開幕戦の前に知事と柳居議長を表敬訪問されました。



2023年9月23日
第4回バルクール日本選手権が宇部市常盤通りで開催されました。バルクールはフランス生まれの、走る・跳ぶ・登るなどの「移動動作」スポーツです。



2023年10月7日
宇部市東岐波海岸の清掃活動に参加。高井県議、県の桜井港湾課長、東岐波中学校の生徒さん、大勢の地元の皆様がボランティアとして参加されました。



2023年10月21日
自治体消防75周年山口県消防大会が宇部市渡邊翁記念会館で開催。村岡副知事、篠崎市長の式辞に続き、私も県議会議長代理で来賓祝辞を述べました。



2023年10月25日
自民党山口県連主催の政策聴聞会が開催されました。関係29団体の皆様のご切実なご要望を反映できるように要望して参ります。



2023年10月29日
自民党山口県連政調会が山口市のかめ福オンラインで開催され、各市の市長より浸水対策や道路整備などの地域に密着した要望を頂きました。



2023年11月20日
第2回少子化・人材育成確保対策特別委員会を開催。合計特殊出生率が1.89と県内一高い和木町と、2.95で「奇跡の町」と呼ばれる岡山県奈義町の話伺いました。

